

【中国】 日中観光文化交流団訪中に際しての習近平演説

主任調査員 海外立法情報調査室 岡村 志嘉子

* 2015年5月23日、北京の人民大会堂で、約3,000人の日中観光文化交流団（名誉団長：二階俊博・自民党総務会長）を前に習近平主席が行った重要演説全文を訳出する。

来賓の皆さん、友人の皆さん

こんにちは。2,000年以上前、中国の大思想家、孔子は、友あり遠方より来る、また楽しからずや、と言いました。今日、3,000人を超える日本各界の人々が遠方より来り、北京の人民大会堂に集まり、中国側と共に中日友好交流大会を開きました。これは、近年の両国の民間交流における盛事であり、我々は大変喜ばしく思っています。

最初に、私は中国政府と人民を代表し、また私個人として、日本の友人の皆さんの来訪を心より歓迎します。私はまた、皆さんを通じて、広範な日本人民に心からの挨拶と祝福をお伝えします。

中日両国は一衣帯水で、2,000年以上にわたり、平和友好が両国人民の心の主旋律であり、両国人民は互いに学び合い、それぞれの発展を促し、また人類文明の進歩にも重要な貢献をしてきました。

1週間ばかり前、インドのモディ首相が私の故郷の陝西省を訪問し、私は西安で同首相と共に中印古代文化交流の歴史をたどりました。隋唐時代、西安は中日友好交流の重要な門戸でもあり、当時日本から多くの使節、留学生、僧侶がそこに来て学び生活していました。その中の代表的な人物、阿倍仲麻呂は、中国唐代の大詩人である李白や王維と深い友情を結び、感動的な逸話を残しました。

私は福建省で仕事をしていたとき、17世紀の中国の名僧、隠元大師が日本に渡った話を知りました。日本にいる間、隠元大師は仏教の教義だけでなく、先進的な文化や科学技術も伝え、日本の江戸時代の経済社会の発展に重要な影響を及ぼしました。2009年、日本訪問時に私は北九州等を訪れ、両国人民の断ち切ることのできない文化的な源と歴史的な繋がりを実感しました。

近代以後、日本が対外侵略拡張の道を歩んだため、中日両国は悲痛な歴史を体験し、中国人民に深刻な災難がもたらされました。前世紀70年代、毛沢東主席、周恩来首相、鄧小平氏そして田中角栄氏、大平正芳氏ら両国の古い世代の指導者が高度な政治的知恵によって重要な政治決断を行い、多くの困難を克服し、中日国交正常化を実現し、また平和友好条約を締結し、両国関係の新たな時代を切り開きました。廖承志氏と高碕達之助氏、そして岡崎嘉平太氏ら多くの有識者が積極的に奔走し、多くの活動を行いました。

中日友好事業が両国と両国人民にとって、また、アジアと世界にとって有益であり、我々がそれを一層大切にし心を込めて守るため、たゆまぬ努力を続けるべきものであることは、歴史が証明しているところです。

来賓の皆さん、友人の皆さん

隣人は選べるが、隣国は選べません。「徳は孤ならず、必ず隣あり。」中日両国人民が心から友好的で、徳をもって隣り合いさえすれば、必ず末長い友好を実現できるでしょう。中日両国は共にアジアと世界の重要な国であり、両国人民は勤勉、善良で、知恵に富んでいます。中日の平和、友好、協力は、人心の向かうところであり、大勢の赴くところです。

中国は中日関係の発展を極めて重視し、中日関係に数々の困難があっても中国側のこの基本方針は常に変わらず、今後も変わることはありません。我々は日本側と共に、中日の4つの政治文書（訳者注：1972年の日中共同声明、1978年の日中平和友好条約、1998年の日中共同宣言、2008年の「戦略的互惠関係」の包括的推進に関する日中共同声明）を基礎として、両国の善隣友好協力を推進したいと願っています。

今年是中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利70周年です。当時の日本軍国主義が犯した侵略の犯罪行為を隠蔽することは許されず、歴史の真相を歪曲することは許されません。日本軍国主義の侵略の歴史の歪曲・美化を企てるいかなる言動に対しても、中国とアジアの被害国の人民は同意しないし、正義と良識のある日本の人民もそれに同意しないと信じています。過去を忘れず後の戒めとする。歴史を銘記するのは未来を切り開くためであり、戦争を忘れないのは平和を守るためです。

日本の人民もあの戦争の被害者であると我々は考えています。抗日戦争終結後、中国人民は徳をもって恨みに報い、中国にいた100万人の日本人の帰国を助け、数千人の日本人戦争遺児を育て、中国人民の広い度量と限りない愛情を示しました。

今日、中日双方は歴史を鑑として未来に向かうという精神に基づいて、平和的発展を共に促進し、末長い友好を共に模索し、両国発展の美しい未来を共に創り、アジアと世界の平和のために貢献しなければなりません。

来賓の皆さん、友人の皆さん

中日友好の土台は民間にあり、中日関係の前途は両国人民の手に握られています。両国関係の発展が順調でないときであればあるほど、両国関係の改善発展の条件と環境を創り上げるために、両国の各界の人々の積極的な行動が一層必要とされ、双方が民間交流を強化することが一層必要とされます。

「青年興ればすなわち国家興る。」今日は多くの若い友人の皆さんが参加しています。中国政府は両国の民間交流を支持し、両国各界の人々、特に若い世代が中日友好事業に積極的に身を投じ、交流協力の中で理解を増進し、相互信頼を構築し、友情を発展させることを奨励しています。

先人が木を植えれば、後世の人が木陰で涼むことができます。両国の青年が友好の信念を強固にし、積極的に行動し、絶えず友情の種を撒き、中日友好を大木に、そして鬱蒼とした森に育て、中日両国人民の友好を末長く続けていくよう、私は心から期待しています。

最後に、今回の中日友好交流大会の成功をお祈りし、また、日本の友人の皆さんが中国滞在中楽しく過ごされるようお祈りします。

ありがとうございました。

出典

・习近平「在中日友好交流大会上的讲话（2015年5月23日）」『人民日报』2015.5.24.